

広島大学大学院
放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム

平成 28 年度第 1 回放射線災害医療コースセミナー
を開催しました

フェニックスリーダー育成プログラムでは、平成 28 年 6 月 30 日に、理化学研究所 多細胞システム形成研究センターの六車恵子先生をお招きし、「iPS 細胞による神経変性疾患研究 ―神経発生学の疾患研究への応用―」と題して、平成 28 年度第 1 回放射線災害医療コースセミナーを開催しました。

六車先生は、ヒト ES 細胞を用いて、小脳皮質を構成する細胞群のなかの「プルキンエ細胞」を分化誘導する培養方法を確立されてきました。その結果、「無血清凝集浮遊培養法 (SFEBq 法)」と呼ばれる三次元浮遊培養法を開発するとともに培養条件の最適化を行うことにより、ヒト ES 細胞から形態的・機能的にも生体と非常によく似たプルキンエ細胞の分化に成功し、さらにプルキンエ細胞と顆粒細胞を同一の細胞塊内で分化させる培養条件の検討により、ヒトの妊娠第 1 期三半期に相当する小脳皮質構造の形成に成功されています

セミナーでは、ES 細胞や iPS 細胞を用いた具体的な SFEBq 法の技術や研究成果について、また、研究成果の臨床活用の展望などについてご講演いただき、当初予定していた会場に加えて、急遽、別室でテレビ中継が必要となるほどの 50 名以上の学生・教職員が、神経疾患研究の最新の知見について聞き入りました。

質疑応答でも、活発な意見交換が行われ、大盛況のうちに幕を閉じました。



メイン会場の様子



テレビ中継会場の様子